

病院整備計画の公募審査に関する質問票

- 黄色着色セルに入力してください。
※「担当者名」「メールアドレス」「回答」行に入力してください。
- 今回頂いた回答は委員に提供し、後日会議HPIに掲載します。
※担当者名とメールアドレスは非公表です。

保健医療圏	東部
応募医療機関名	(仮)AOI吉川病院
担当者名	
メールアドレス	

委員名	応募医療機関名	質問	回答	
1	西村委員	(仮)AOI吉川病院	地域内で顔の見える連携が求められる中で、管理者であり診療の中心を担う院長予定者の経歴・専門領域をお示し頂けないか？	院長人事については検討中ですが、現段階において、元獨協医科大学副学長、同大学名誉教授 特任教授(消化器内科学)であり、現当社団既存病院 院長の異動着任を考えております。新潟聖籠病院は、新潟県 聖籠町にて運営(新規開設、許可病床数240床)しております。新潟市に近く人口が少ない地帯であり、地域医療に積極的に貢献し極めて良好な運営にご尽力いただいたことが選定理由であります。当社団グループ内の院長級の内科・外科医師の異動も選択肢として考えております。
2	西村委員	(仮)AOI吉川病院	近隣の急性期病床を考慮して、必要病床数では報告ベース、定量基準ベースでも過剰となる急性期病床40床を設置する根拠は何か？	高度急性期・急性期病床を運営している医療機関の負担軽減が主たる目的ではありませんが、2次応需病院とした運営とすること、かかりつけ患者ならびに当院を退院し再入院が見込まれる患者受入れを考慮した最低限の病床設定とさせていただきます。これがこの根拠であります。
3	西村委員	(仮)AOI吉川病院	「救急患者の治療を引き継ぎ病状の安定化を目指す急性期病床」とあるが、医療資源投入量的には急性期でなく回復期ではないのか？	回復期(回復期リハ・地域包括ケア)、慢性期の病床設定を手厚くした計画にすることにより、埼玉県 東部医療圏の高度急性期・急性期病院の在院日数減少と運営安定化に貢献できると考えております。急性期40床を計画した理由として近隣急性期病院の負担軽減を目的としております。
4	西村委員	(仮)AOI吉川病院	急性期ならば、急性期一般入院料1~6のいつれの算定を予定されているか？二次救急指定について取り組むのか？	2次救急指定に取組む考えであります。従いまして、急性期一般入院料1~6のいつれの算定を計画しておりますが、まずは医療を必要とされる患者様の受入れを優先し、動向と実績を見極めながらその計画の実施を進めたいと考えます。
5	西村委員	(仮)AOI吉川病院	回復期リハビリテーション病床での予定受入患者の疾患構成として、脳血管疾患・整形疾患・心疾患・廃用症候群それぞれの比率をどのように想定しているのか？	脳血管疾患50%、整形疾患30%、廃用症候群20%を想定しており、心疾患につきましては、治療可能な医師の確保に努め、廃用症候群の20%の中で割合調整した運営を計画しておりますが、東部医療圏の他医療機関の状況に応じ適切な比率と出来るよう検討してまいります。
6	西村委員	(仮)AOI吉川病院	療養病床では、医療依存度の高い患者(人工呼吸器・気管切開・中心静脈栄養・胃ろう・経管栄養)などの受入が求められているが、これらを制限なく受入して頂けるのか？	医療依存度の高い患者につきましては、可能な限り受入を行っていく考えであります。近隣の介護老人保健施設等とも連携し、胃ろうや経管栄養などを対応可能な患者につきましては、適正な施設に調整を行い、療養病床の回転も念頭に入れ、在宅復帰を目指してまいります。
7	西村委員	(仮)AOI吉川病院	医療依存度の高い患者の在宅復帰は困難を極めると考えるが、療養病床の在宅復帰率70%を実現する具体的根拠は何か？	福祉施設への退院も在宅復帰の一環として考えております。上記でも述べた通り介護施設との連携を行い病院より介護施設への退院、介護施設より在宅への退院といった連携も計画しておりそれにより在宅復帰率70%に近い数値を実現する計画を立てております。地域医療情勢に応じ、柔軟に対応し東部医療圏にご協力いただかなければならないとも考えております。
8	西村委員	(仮)AOI吉川病院	看護師、介護福祉士など人材確保が困難な状況下で、新規で多数の人材確保を必要としているが、近隣医療機関への影響はどのように考えているのか？	東部医療圏の病床不足を解消したいという主旨にて今公募申請致しました。当然のことながら、マンパワーの採用について他医療機関に影響があると指摘があることも推測しておりました。ご説明が不足しており、今回答にて追記させていただきます。開設までの間、当社団グループの医療機関にて従事する者の異動も視野に入れた採用計画をもってしております。270床の病床を開設する前から、採用を開始しグループ他医療・介護機関にて勤務いただく考えです。繰り返しますが、プレゼンテーションにて、当社団グループには、医療従事者を創出する大学・専門学校を有していると申し上げました。その卒業生が活躍していると同時にグループ内の医療・介護機関に従事している者もおります。今計画では医療従事者を養成する教育機関設置検討も提示しました。この教育機関から近隣医療機関に輩出することで、医療従事者の不足解消に努めていくという中長期的ビジョンがあることにもご理解をいただきたいと思います。
9	宗廣委員	(仮)AOI吉川病院	当院の退院支援看護師に聞くと、回復期リハビリ病院への転院はスムーズにいくとのことですが、今回のプレゼンテーションで、回復期リハの申請が複数の施設から上がっているのを聞いて、自施設での申請数はそのままの数が必要だと考えていますか？	1 医療機関で多くの回復期リハ病床を有することは、施設基準上厳しい運営が強いられると分析しております。当社は、回復期について回復期リハ・地域包括ケアの2種設定にて計画しています。状況に応じた病床活用にて東部医療圏に貢献したいと考えておりますが、吉川市の医療機関が他市と比較して圧倒的に少ないことを考慮すると、今計画申請数が適当ではないかと考えております。
10	中村委員	(仮)AOI吉川病院	慢性期療養病床150床を含む270床の要望ということで、マンパワーの新規採用について、周囲の医療機関への影響が心配である。	東部医療圏の病床不足を解消したいという主旨にて今公募申請致しました。当然のことながら、マンパワーの採用について他医療機関に影響があると指摘があることも推測しておりました。ご説明が不足しており、今回答にて追記させていただきます。開設までの間、当社団グループの医療機関にて従事する者の異動も視野に入れた採用計画をもってしております。270床の病床を開設する前から、採用を開始しグループ他医療・介護機関にて勤務いただく考えです。繰り返しますが、プレゼンテーションにて、当社団グループには、医療従事者を創出する大学・専門学校を有していると申し上げました。その卒業生が活躍していると同時にグループ内の医療・介護機関に従事している者もおります。今計画では医療従事者を養成する教育機関設置検討も提示しました。この教育機関から近隣医療機関に輩出することで、医療従事者の不足解消に努めていくという中長期的ビジョンがあることにもご理解をいただきたいと思います。
11	平井委員	(仮)AOI吉川病院	地域包括ケア病床・慢性期病床にて地域医師会・住民と連携を図りたくありますが具体的にどのように構築していくお考えですか？	地域医師会等の会合、医療圏での協議場面に積極的に参加いただくことは当然のことですが、職種別の協議会においてはきめ細かな情報交換や連携が深まる場になりますのでそういったものに参加させていただければと思います。今計画地は都市計画地であり、開設までの間、行政・住民説明会を開催していただければなりません。直接にご要望等をお伺い出来る場でもあり、その意見等を反映し様々な連携策を探ってまいりたいと考えております。
12	平井委員	(仮)AOI吉川病院	現在のコロナ感染症の様に将来的にパンデミックな発生に対し、中等症以上の入院の受け入れ、発熱外来等の設置に対するお考えは如何でしょうか？	将来的な感染症について例にない新たな問題が生じると考えますが、入院患者の受入(感染症に対応する個室設定を増加させる再検討に着手しました)と発熱外来設置にて東部医療圏に貢献できるよう計画変更に向き合い取り組んでまいりたいと思っております。

13	平井委員	(仮)AOI吉川病院	10科の標榜とありますが、非常勤をくわえ17名では少し無理があると思われま。また内科は専門は何でしょうか	当社の計画では、初年度は、小児科・耳鼻科・皮膚科の診療は隔日で運営するといった計画として医師数を低めに設定しました。動向にて診療日を増加させることとなれば、提示した数値での運営はご指摘の通り困難ですから、常勤医の増員といった柔軟な対応を進めてまいります。
14	平井委員	(仮)AOI吉川病院	医師会の希望としては、急性期・慢性期の円滑な入院を希望しております	当社は、資料にてご提示した通り高度急性期・急性期を主として運営される医療機関を支援していく医療機関として運営する所存であります。ご希望に添えるよう努めてまいります。
15	平井委員	(仮)AOI吉川病院	全体で819床の増床になる予定ですが、270床の看護師の確保は如何にお考えですか	東部医療圏の病床不足を解消したいという主旨にて今公募申請致しました。当然のことながら、マンパワーの採用について他医療機関に影響があるご指摘があることも推測しておりました。ご説明が不足しており、今回答にて追記させていただきます。 開設までの間、当社グループの医療機関にて従事する者の異動も視野に入れた採用計画をもってまいります。270床の病床を開設する前から、採用を開始しグループ他医療・介護機関にて勤務いただく考えです。 繰り返しとなりますが、プレゼンテーションにて、当社グループには、医療従事者を創出する大学・専門学校を有していると申し上げました。その卒業生が活躍していると同時にグループ内の医療・介護機関に従事している者もおります。今計画では医療従事者を養成する教育機関設置検討もご提示しました。この教育機関から近隣医療機関に輩出することで、医療従事者の不足解消に努めていくという中長期的ビジョンがあることにもご理解をいただきたいと思います。
16	平井委員	(仮)AOI吉川病院	休日救急・夜間救急に対するお考えは如何お考えですか また休日診療・夜間診療についてはいかがでしょうか	2次応需病院として運営していく計画とし、輪番制に参画していく考えであります。
17	平井委員	(仮)AOI吉川病院	責任者の医師会入会及び勤務医全員の医師会入会については如何お考えでしょうか	責任者・それに準ずる医師の入会をさせていただく考えであります。
18	平井委員	(仮)AOI吉川病院	行政との連携となる 予防接種などの公衆衛生事業に対するお考えは如何でしょうか	初年度からの事業協力を確約することは難しいと考えますが、当社は体制整備が成された医療機関はこれにご協力させていただいているとご理解いただければと思います。
19	原直委員	(仮)AOI吉川病院	地域包括ケア病床40について：地域包括ケア病床を持つということはサブアキュート(誤嚥性肺炎や骨折等)も診るという理解でありますが、二次救急や夜間および休日の救急を受けたいだけという理解でよろしいか。救急に対する計画を教えてください	2次応需病院として運営していく計画としたことから、地域包括ケア病床についてもこれに準ずる体制とした計画であるご理解ください。
20	原直委員	(仮)AOI吉川病院	回復期リハビリ病床40について：県の定量分析ベースでは東部地域の必要数は1579床ではなく75床となっている。また、現在、対人口10万人当たり81.5床と突出した病床を持っている地域であるにもかかわらず、当該病床を大きく増床申請する理由を教えてください	在宅復帰を目的とした病床整備について、将来を含め重要性を認識しております。高度急性期・急性期病院の負担軽減を目的とした病床設定は、プレゼンテーションにてお示した通りであります。定量分析ベースの数値において、東部医療圏は突出していることを理解した上で、吉川市の入院機能を有する病院が1医療機関しかないという現状を鑑み、1病棟40床の設定を致しました。これ以上の病床を有した場合、施設基準を維持することが困難と分析しており、以降病床機能変更を検討することはございません。
21	原直委員	(仮)AOI吉川病院	回復期リハビリ病床40について：人材の件。大きく増床することは理学療法士を多く迎える必要があります。現時点でもこのエリアでは多くの理学療法士が活躍中であります。人材雇用のことも含め、地域医療のバランスを崩す可能性を危惧しますが既存医療機関からの人材流出の無いような採用計画となっておられるのでしょうか。	当社グループには、理学療法士・作業療法士を創出する大学・専門学校を有しております。多くの卒業生が活躍されていると同時にグループ内の医療・介護機関に従事しています。新卒の採用は勿論ですが、既に従事している職員に新たに新設する医療機関での体制整備ならびにスキルアップを目的とした異動打診を行ってまいります。
22	原直委員	(仮)AOI吉川病院	医療従事者の採用計画について：地域に迷惑をかけずとの計画をうたわれているが、それを目指しながらうまく行くのでしょうか。これまでも越谷市内でも人材不足が続いています。その状況下において、既存医療機関の人材不安を脅かすことなく270床分の職員確保は困難を極めませんか。困難な場合、病床縮小の計画変更の選択肢はありますか。また、既存医療機関からの看護師・職員の応募に関しては採用を見合わせるという考えで理解してよろしいか。	東部医療圏の病床不足を解消したいという主旨にて今公募申請致しました。当然のことながら、マンパワーの採用について他医療機関に影響があるご指摘があることも推測しておりました。ご説明が不足しており、今回答にて追記させていただきます。 開設までの間、当社グループの医療機関にて従事する者の異動も視野に入れた採用計画をもってまいります。270床の病床を開設する前から、採用を開始しグループ他医療・介護機関にて勤務いただく考えです。このような計画を実行していくことにより、近隣医療機関に配慮させていただきたいとご理解ください。 繰り返しとなりますが、プレゼンテーションにて、当社グループには、医療従事者を創出する大学・専門学校を有していると申し上げました。その卒業生が活躍していると同時にグループ内の医療・介護機関に従事している者もおります。今計画では医療従事者を養成する教育機関設置検討もご提示しました。この教育機関から近隣医療機関に輩出することで、医療従事者の不足解消に努めていくという中長期的ビジョンがあることにもご理解をいただきたいと思います。
23	原繁委員	(仮)AOI吉川病院	新規に270床の病棟を応募していますが、14人以上の医師の確保は可能ですか。	可能と考えております。 東部医療圏の慢性期病床不足を解消したいという主旨にて今公募申請致しました。当然のことながら、マンパワーの採用について他医療機関に影響があるご指摘があることも推測しておりました。ご説明が不足しており、今回答にて追記させていただきます。 開設までの間、当社グループの医療機関にて従事する者の異動も視野に入れた採用計画をもってまいります。270床の病床を開設する前から、採用を開始しグループ他医療・介護機関にて勤務いただく考えです。
24	岡村委員	(仮)AOI吉川病院	外来機能はどのように検討されているのでしょうか。	内科 整形外科 耳鼻咽喉科 脳神経外科 リハビリテーション科 放射線科 消化器科 皮膚科 小児科 外科の標榜にて計画させていただいておりますが、近隣診療所の状況を再確認させていただき、再考する意向はございます。健診部門については、吉川市の医療機関が少ないこと、立地条件が良く住民の皆様の利便性を考慮し、併設する考えであります。
25	田中委員	(仮)AOI吉川病院	病院の新設にあたり、医療従事者の確保予定人員は、医療法上の人員配置基準を満たしていますか？	医療法上の人員配置基準は満たしておりますが、今感染症による影響を考慮し余裕が持たせられる配置とする考えであります。